団体名: 岡崎商工会議所

事業名	事業概要(背景•目的)	事業実績	主たる 対象者		日	標①			目 標②		事 得られた効果	・ 兼	評 価		ABCD	平価			今後の展開・改善	
	管内事業者の大多数を占め、管	・巡回指導	7.4.44 E		目標①				ままでは、 課題解決提案件数		巡回及び窓口での相談・				自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	小規模事業者支援
	内商工業の基盤をなす小規模事業者の経営基盤の安定強化を図るため、巡回及び窓口において相談・助言・指導を行う。	実企業数456社、内非会員46社 延べ件数634件、内非会員49社 ・窓口相談 実企業数690件、内非会員148		指標	(達成度			指標	(達成度 109.0		助言・指導と各種支援施 策の活用により、小規模 事業者の経営基盤の安定	総合		事実 業施	A 1	事	1 作	現行どおり	現行どおり	柱となる事業であ り、経営改善意欲の ある企業を発掘して 重点的に指導してし
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1142177	件 延べ件数1,614件、内非会員 302件	小規模事業者	目標	2, 000	実績	2, 248	目標	100 実績	109	- 強化が図られた。 	評価	A	靈 4Ⅱ	目標達成度	まる 必要性		実施方法①	実施方法②	<
		・課題解決提案件数109件 ・経営革新計画承認0件		数值	2, 000	数値	_,	数值	数值						Α	А		現行どおり	現行どおり	
	記帳は経営改善の前提であり、金融面・税制面の施策を受ける	·記帳指導企業数202事業所 ·記帳指導日数1,286日	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	指標		代行指数	代行指導受講者 数	指標			自主記帳能力の向上と記 帳の合理化が図られた。				自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	実態に即して目標で
已帳指導	基礎となる。このため、記帳から 決算・申告まで継続した指導を 行い、自主記帳能力の向上を図 る。また、記帳の合理化を図るた	·記帳指導延回数3,435回	小規模事業者		(達成度	96.2	%)	70.1%	(達成度	%)	記帳をすることにより経 営の改善だけでなく金融 面・税制面の施策を受け	総合評	А	事実 業施 評側	A 記述	那業 A 監者 — 必要性		下げる 実施方法①	実施方法②	普及事業の柱となる 事業で、記帳能力の 向上を図るほか、経 営改善にも資する
	め、記帳の機械化を推進する。			目標 数値	210	実績 数値	202	目標 数値	実績 数値		ることができた。	価		価の	B	の A		現行どおり	关肥力压区	当以告にも負する7- の、引き続き実施していく。
	管内事業者の大多数を占め、管 内商工業の基盤をなす小規模事	講習会開催回数及び受講者数 ・集団16回		15-17	集団指	導延参	加者数	15.17	 個別指導延	□ 廖加者数	講習会を通じて、小規模 事業者が経営に必要な知				自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	集団指導は回数を増 やし目標を上げる。
	業者及び中小企業者の経営基盤 の安定強化を図るため、個別あ るいは集団を対象とした講習会	(内、経営革新 1回 5人)	小規模事業者	指標	(達成度 88.5 %)		指標	(達成度 113.2	%)	識を身に付け、経営基盤 の安定強化を図ることが	総合	_	事実業施	A	事 一 一 一 名		上げる	現行どおり	また、経営環境の変 化に対応し企業ニー ズの高い講習会を実	
	を階層別、職能別、分野別に区分して幅広く開催する。	利用者延860人	7,20,7,4,1	目標数値	330	実績数値	292	目標数値	760 実績数値	860	できた。	評価		評側 価の	目標達成度	る 必要性 の		実施方法①	実施方法②	施し、受講者の満足原 を高めるよう引き続 き事業を実施してい
	働き方改革・税制度の変更等、	講習会開催回数及び受講者数		XIE	集 中长		4n 1	3X IIE		£ +n + x +⊦	集団指導の活動を通じ				A ===/=	A	140	現行どおり	現行どおり	く。 類似の事業である
	制度改正による課題に対して、 中小・小規模企業者が円滑に対	・集団12回 参加者延101人 ・個別 0回 利用者延0人		指標	集団指 (達成度	[導延参] = 28 0 €		指標	個別指導延續(達成度 0.0		て、消費税等の制度改正や新たな支援策の周知や	総		事実	自己評価 B	満足度 事 ** A	補足	目標① 廃止	目標② 廃止	業環境変化対応型 援事業に一本化する
度改正等の課題 決環境整備事業	応できるよう、相談窓口の設置 や講習会の開催等の経営支援を 行う。	計 12回 101人	小規模事業者 等		(建队及		70)			90)	事業所における対策構 築・活用等を図ることが	合評	В	業施評側		系者 者 さ 必要性		実施方法①	実施方法②	ため、次年度は本語 業を実施しない。
	11 7 .			目標 数値	350	実績 数値	101	目標 数値	45 実績 数値	0	できた。	価		価の	D	δ A		廃止	廃止	_
	中小・小規模企業経営に携わる 若手経営者・後継者等が自己研 鑽・相互啓発活動等を通して、 経営者としての人格や教養、経	参加者延1,635人 ·会議223回 参加者延3,719人	若手経営者・	ماد	事業参加延人数 (達成度 124.5 %)		指標	<u> </u>	%)	自己研鑚や相互啓発活動を通 じて若手経営者等が経済人と				自己評価	満足度	補足	目標①	目標(2) ではなく、	回数や出席者数の ではなく、参加者が	
手後継者等育成				指標				(達成度		しての人格の形成、教養の習 得を図り、企業の持続的発展、 →ひいては地域社会の発展に寄	総合		事実 業施	A	事 業 B		現行どおり		満足できるよう内容 重視で実施してい く	
事業 (青年部事業)	営能力の向上を図ることで、企業の持続的発展ひいては地域社会の発展に寄与する。	(上記事業参加人数延5,354人)	後継者等	目標数値	4, 300	実績数値	5, 354	目標数値	実績数値		与した。 また、若手経営者・後継者等 の相互の交流と連携を深める	評価	A	評側価の	目標達成度	必要性		実施方法①	実施方法②	-
	中小・小規模企業経営に携わる			++	車架	 業参加延人数					ことができた。 研鎖·啓発活動を通して女性	:			自己評価	B #P#	補足	現行どおり	目標②	回数や出席者数の
	女性経営者の研鑚・啓発活動等 を通して、経営者としての資質 や能力の向上を図ることによ	・地域活性化活動2回 ・会議42回(委員会・理事会) (上記事業参加人数延1171人)		指標	(達成度			指標	(達成度	%)	経営者がその資質や能力の 向上を図り、企業の持続的発 展、ひいては地域社会の発展			事実 業施	A		1	上げる	日保全	ではなく、参加者が 満足できるよう内容 重視で実施してい
業	り、地域経済の発展に資することを目的とする。		女性経営者等	目標	000	実績	1171	目標	実績		→に寄与した。 また、相互の交流と連携を深 めることができた。	=0	Α		目標達成度	書る 必要性		実施方法①	実施方法②	-<.
				数值	800	数値	1171	数值	数值						А	В		現行どおり		
	コロナの影響を受けた事業者の 売上回復に向け、事業計画策定 の支援を行う。	個別指導回数及び事業者数 ・個別186回 261人 ・集団 4回 56人		指標	個別指			指標	集団指導延		個別相談を通じて、コロナ禍 で影響を受けた事業者に対 し、専門家による各種支援	総		事実	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	各種制度や支援策等 は時の状況に合わせ て変化しており、そ
「業環境変化対応 !支援事業	×100 (11) 0	計190回 317人	中小・小規模 事業者	目標	(達成度 58.0 %) 実績 261		目標	(達成度 18.7 %) 票 200 実績 FG		─施策の周知及び申請サポー ト等、課題解決に向けた支	合評	В	業施評側		** A A A A A A A A A A A A A A A A A A	- -	現行どおり	現行どおり実施方法②	の周知·活用を促す べく引き続き支援事	
				数値	450	数値	261	数値	300 数值	56	援を行うことができた。	価		価の	D 7	S 必要性 A		現行どおり	現行どおり	業を実施していく。
	事業主に代わって各種届出等労働 保険の事務を処理することで中小 企業事業主の事務負担を軽減する	代行 委託事業場数:387事業場 ・建設業一人親方の労働保険事		指標	委託事業均	易数 ▪ 団 数	团体構成員	指標			事業主の事務負担を大幅 に軽減するとともに労働 保険制度を有効に活用で				自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	事業主の事務負担 と一人親方の生活 不安の軽減のた
労働保険事業 (労働保険事務組で 合・建設業一人親 ま 方労災組合事業)	とともに、労働保険の適用促進及 び各種制度の推進を図る。また、建 設の事業に携わる一人親方におい ては、元請事業者等から特別加入	務 回体情成貝数:188争耒場 209人	中小・小規模		(達成度 110.6 %)		אויםו	(達成度 %)		きた。 建設業一人親方の特別加 」入が容易にできるように	総		事実業施	A ii	事		現行どおり		め、引き続き事業 を実施していく。	
	制度への加入が要請されている。 そこで、建設業一人親方の特別加 入団体を設置して、特別加入制度 への加入促進を図ることにより不 慮の災害による生活不安の低減を		事業者	目標数値	520	実績 数値	575	目標数値	実績 数値		Lt.	一個	A	評側価の	目標達成度	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		実施方法①	実施方法②	
	図る。 企業が厳しい経営環境に対応	・各種検定の実施(198回)			37.	受験 老	粉				受験勉強・受験を通じた				自己評価	満足度	補足	日標①	目標②	一部ネットでの検定記
	し、成長するには、競争力の源で ある人材の育成が重要である。 そこで、企業の生産性を上げる ビジネススキルが身につく各種 検定試験等を実施して企業の教	・延受験者数 (1,378人)		指標	延受験者数 (達成度 78.7 %)		指標	(達成度	%)	個々の能力の向上によ り、業務の効率化や生産	総		事実	A	事	州化	下げる	口际运	験の実施が可能になったため、目標を下げるが、企業経営の基盤で	
(検定等支援事 ^{美)}					目標 1 750 実績 1 279		目標	実績		性の向上が図られ、企業 ┃の成長につなげることが ┃できた。		. A	業施_ 評側 価の		**************************************		実施方法①	実施方法②	」ある人材の育成に役立 つ事業であるため、必 要な検定試験は引き網	
、 	育訓練を支援し、企業の成長力 につなげる エンなける	- ついては、備考欄に○を付す		数値		数値	数值				"	, J)	В	Α		現行どおり		き実施していく。		

団体名: 岡崎商工会議所

事業名	事業概要(背景·目的)	事業実績	主たる								業 評 価 ABCD評価 今後の展開・改善点等 備考								
, , , ,		7 7.13 1.00	対象者	<u> </u>	目 7		<u> </u>	目 標②		得られた効果	<u> </u>	-		ABCD評	価	·		今後の展開・改善	
調査・広報事業	管内中小企業等の景気動向など を総合的に調査することによ り、今後の中小企業施策ならび に経営指導の参考にするととも に、中小企業に対し経営情報と	(4回)回答率72.4% ・LOBO調査(12回) ・機関紙である会報等によって、マ ル経はじめ融資制度や経営改善に資	小規模事業者 始め市内の中	指標		企業景況調査の回答率 (%) 成度 90.5 %)		(達成度	%)	中小企業の経営状況を捉えることにより、経営指導の参考にすることができた。また、本所の経営改善事業活動のほか、行政への要望活動のための参考とし	経総合	Δ	事実	自己評価 A 調査	満足度 事 業 A 者	補足	目標① 現行どおり	目標②	中小企業景況調査は経営指導の参考になるとともに、企業の経営にも役立つため、引き続き事業を実施してい
MATE WINDS	して提供する。	する各種情報を提供した(年12回発 行)	小企業者等	目標 数値	80	実績 72.4	目標数値	実績数値		た。 また、各種施策をPRすることで 利用促進を図り、経営の安定・ 改善につながった。	評価		評側価の	目標達成度 果 B	の 必要性 A	_	実施方法① 現行どおり	実施方法②	
	中小の製造業では技術力向上と 販路開拓が経営改善の重要なポ イントになる。それを実行する ためには、社員の技能・技術の	延233社805件②ものづくり情報 提供:延415社③ものづくり		指標		 延企業数 72.0 %)	指標	 フェア参加 (達成度 100.0		社員の技能・技術の向上 や生産現場の改善等が図 られ、中小製造業の競争 力が強化された。	40		*	自己評価 A	満足度	補足	足 目標① 実態に下げる ニーズ	実態に即して目標を 下げるが、製造業の ニーズを把握し、製 造業のためになる事	
(ものづくり推進 事業)	向上、生産現場の改善、新製品開発、新たな生産方法等の取組を 行って競争力の強化を図ること が必要となるため、これらを支援する事業を実施し、中小製造 業の活性化を図る。		小規模事業者 等	目標数値	900	実績 数値 648	目標数値	111 実績 数値	111	ガが・強化 C10/こ。	総合評価	А	事業評価の	目標達成度 結果 B	業 必要性 への の	-	実施方法①	実施方法②	業を継続して実施する。また、令和6年度はものづくりフェアを開催しないため目標②は廃止する。
商談会事業	先行きが不透明な経済情勢の中、売上・利益を確保するためには各事業者が新たな受発注の仕組みを構築する必要がある。このため、幅広いビジネスマッチング事業を実施し、岡崎市内の事業所の活性化を図る。			指標		リー企業数 110.6 %)	指標	(達成度	%)	今まで付き合いのなかった企業との出会いと商談のチャンスが得られ、販	総		事実	自己評価	満足度 事 業 B	補足	目標①	目標②	販路開拓・販売促進に有効な事業のため、既存の出場
		(エントリー企業34社)	小規模事業者 等	目標数値	47	実績 52 数値	目標数値	実績数値	į	路開拓・受注増につな がった。 	合評価	А	業施 評側 価の	目標達成度 A	者 ・必要性 の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		実施方法①	実施方法②	企業へのリピート の促しや新規の参加企業の発掘に努 める。
	店舗のファン獲得につながる支援事業を通じて、魅力あるまち			七冊	参加店舗数		指標			個店への集客(ファンづくり)を考えるべく、その		+		自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	魅力ある店づくり、 まちづくりを目指し
商店街・まちづく	づくり・個店づくりを推進する。 こうした取り組みによって、市		主に商店街等の商業・サービス業の小規	指標	(達成度	96.7 %)	7日1水	(達成度	%)	ヒントを与えるとともに 今後の個店づくり・まち づくりに対する意識付け	総合評	Α	事実業施評側	A 調 查	事 業 B		上げる		た活動を積極的に推 進する。次年度はま ちゼミサミットの開 催は無いので商店街
	内店舗の売上とモチベーション の向上につなげる。		模事業者	目標 数値		実績 数値 29	目標 数値	実績 数値		を行うことができた。	価		価の	目標達成度 用 B	へ の A	=	実施方法①	実施方法②	権は無いので商店は - の巡回を強化する。
	岡崎生誕の徳川家康公や八丁味噌、石工業に代表される伝統産業などの岡崎固有の地域観光資源に光を当て、観光まちづくり	・家康公検定 1,384人受験 ・まちかど案内所設置事業604	観光関連事業	指標	実施開催数		指標	(達成度	%)	岡崎への来訪者に、地元 産物・店舗等の特典一覧 を配布するなど、知名度	覧 総		事実	自己評価調	満足度 事	補足	目標① 現行どおり	日標② は別機関・ は別機関・ が、知名度	家康公検定の主催 は別機関ではある が、知名度向上の
	を推進することにより、地域の 賑わい創出を図る。		者及び伝統産 業・地場産業 関連事業者	目標数値	1	実績 数値 1	目標数値	実績数値		の向上と来店者の増加に 効果があった。 	合評価	А	業施 評側 価の	目標達成度 A	者 ・必要性 の A	-	実施方法①	実施方法②	_ため連携してPR等 に努める。 -
	中小・小規模企業で構成する諸 団体の事業活動に対して助言・ 支援活動を行うことで、地域に 根ざす団体の再活性化を図り、	・三河中央エリア経済会議(事務局 会議0回0人、代表者会議0人) ・GON会議(会議回数12回94人) ・おかざき匠の会(勉強会開催11回	±=1 # F7 !! :	指標		加延人数	指標	() † . . †		地域に根ざす団体の活性 化を支援することで、地 域経済の活性化に資する	総		事実	自己評価	満足度	補足 新型コロ	目標①	目標② 下げるが、	実態に即して目標を下げるが、今後も地域経済の活性化に資
産業団体等支援・ 指導事業	根でり団体の特別性化で図り、 もって地域経済の活性化に資す る。	155人) ・岡崎ものづくり推進協議会(会議 回数1回45人) ・岡崎地区外国人雇用管理推進協議 会(研修会・情報交換会等開催5回	左記各団体を 構成する小規 模事業者等	目標数値	120	実績 366	目標数値	(達成度 実績 数値	%)	ことができた。 - 	合評価	В	業施証側	A 調査結果	業 者 心要性	ナウイルス感染により一部ます。	実施方法①	実施方法②	」のにめ、中小・小 」規模企業で構成する 諸団体事業について 助言・支援活動を積 「極的に行う。
	事業所の継続・繁栄には優秀な 人材の確保が重要である。	72人) ・人材確保事業				が順 録企業数	女 但		1	人材の採用を希望する企				B 自己評価	B 満足度	補足	現行どおり 目標①	目標②	ニーズの変化に対応すべく、既存事業の見
雇用促進事業	そこで、求職者に対し、企業活動 や採用情報を具体的かつ継続的	登録企業数159社 ・合同企業説明会7回 ・従業員(女性・若手社員)交流会開催各1回	中小・小規模事業者等 ・大学・専門学校等の学生及び一般 求職者	指標	(達成度 106.0 %)		指標	(達成度	%)	業の各種情報の発信と合同企業説明会の開催により、求職者と企業しています。	合		事実業施	A a 查	事 業 B		上げる		直しを図り、求職者に対し中小企業への理 解・認識を深めさせる
				目標 数値		実績 数値 159	目標 数値	実 績 数値	責	「チングを図ることができ た。	評価		評側価の	目標達成度 果 A	へ の B	-	実施方法①	実施方法②	とともに企業に対し 採用活動へのサポートを強化する。
	の研修会、説明会、講演会、視察、	④工業部会191人⑤建設部会194 人⑥機械金属部会387人⑦交通	小規模事業者	指標	例会参加者数 指標 (達成度 135.5 %)		指標	(達成度	04)	各業種における経営課題 に対し、適切な解決が図 られたほか、交流による ネットワークづくりがで	総		事実	自己評価 A 調	満足度	補足	目標① 現行どおり	目標②	小規模事業者の経営 カ向上と業界の経営 課題の解決に効果の ある事業であるた
部会事業	交流等を行うことにより、各業種の適切な改善を図る。	部会237人⑧理財部会232人。8部 会合計例会延参加者数2,033人	等	目標数値	1, 500	実績 数値 2,033	目標数値	実績数値		**************************************	評価	А	章业 相川	目標達成度 A	者 ・必要性 の B	-	実施方法①	実施方法②	- め、今後も積極的に 実施していく。 - -
	経営と雇用の持続的な安定のため、共済制度の普及・拡大による福利厚生の充実を図り、企業	967社 ·従業員退職金共済加入事業所		指標	団体保険共済加入事業所数 指標 (達成度 96.7 %)		数 指標	 (達成度	%)	共済制度の普及・拡大により、事業主への保障と従業員 の福利厚生の充実・向上を	総		事実	自己評価	満足度 事 業 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	企業の福利厚生の充実に大きく寄与する ものであるため、引き続き実施してい
福利厚生事業	の健全な育成に資する。	数 281社 	中小·小規模 事業者等	目標数値	1 000	実績 数値 967	目標数値	実績数値	į	図ることができた。	合評価	А	業施 評側 価の	直標達成度 果	* 者 へ 必要性 の	-	実施方法①	実施方法②	き続き実施してい く。 -